check!
学校教育法第34条第2項にて、有益適切な図書教材（補助教材）の使用が認められています。

Q 理科ワークブックの実際の使い方を知りたい！

岩手県・A先生の使い方

自主学習用として、ワークブックを使用しています。1回目は付属ノートに、2回目はワークブック本体に書かせることで、最低2回はくり返し学習するように指示しています。定期テスト前には、付属ノートを回収し点検するようにしています。ワークブック本体は生徒の手元に残っているので、テスト勉強を止めてしまう心配もありません。また、定期テストにもワークブックの同一問題を出題することで、生徒のやる気を高めるようにしています。



奈良県・B先生の使い方

家庭学習で使えるよう、ワークブック本体と「解答・解説」を一緒に生徒に渡しています。授業があった日は、その日の授業の復習をワークブックで家庭学習させて、わからなかった問題のフォローを次の授業で行うようにしています。解答・解説に掲載されている図による解説などを活用して説明すると、次からは生徒自身が解説をしっかり見るようになり、自己解決能力が少しずつ身についていきます。



岡山県・C先生の使い方

家庭学習をメインに使用していますが、実験・観察などが理科室や天候の都合で行えない場合、授業でその代用として利用することもあります。そのため、写真が鮮明なワークブックは非常にありがたいです。家庭学習の場合は、授業の進行に合わせて宿題として、定期テスト前などにノートを提出させ、まとめて点検しています。テスト勉強自体は本誌で行わせて、これも定期テスト後に点検するようにしています。



千葉県・D先生の使い方

授業で実験・観察を行った後に、宿題として使用しています。カラーの写真や図版がたくさん使われているので、ワークブックのなかで実験・観察の追体験をしながら、重要事項の確認ができると思っています。定期テストの前には、授業のなかで時間をとって単元末のまとめ問題を直前練習として解かせています。机間巡視をしながら、難しい問題を中心に解説を行っています。



福岡県・E先生の使い方

基本的には家庭学習として使用しています。写真や図版がカラーのワークブックが多く、解答・解説にも詳細な図版や関連資料が掲載されているため、実験・観察の結果や授業で学習した内容を、家庭学習で復習しやすいと思います。また、ワークブック本体や付属ノートの点検もこまめに行うようにしています。多くの生徒がつまずいている問題については、授業でも取り上げて解説するように心がけています。



ワークブックその他の教材について
お知りになりたいことがありましたら、
教材販売店までお気軽に
お問い合わせください！

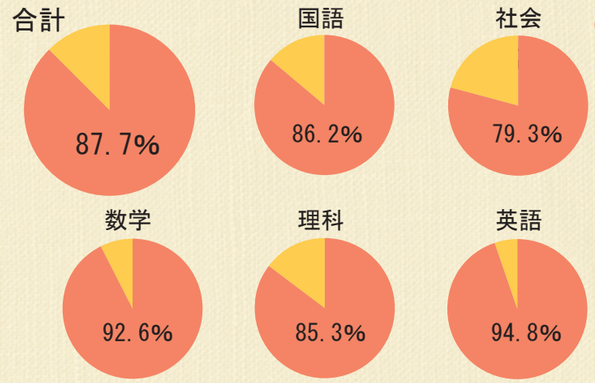
ワークブックをご活用ください！

理科

生徒の可能性を引き出す楽しい学びに

Q ワークブックとはどんな教材？

全国で約90%の先生方が採用している，指導に欠かせない教材です！

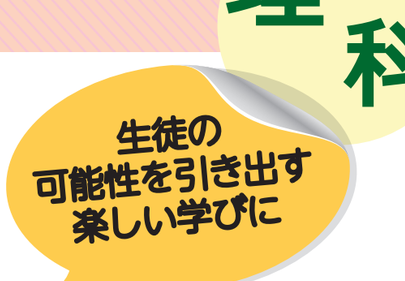


ワークブックは，教科書に沿って（または，その教科の年間の学習内容や学習順序に沿って），基礎的・基本的な知識の確認と技能の練習から，それらを活用した学習活動（資料活用，表現等）まで，幅広く，かつていねいに編集された教材です。

2012年　一般社団法人　全国図書教材協議会の調査による

Q なぜ、ワークブックはそんなに多くの先生が使っているの？

❶「年間1冊」のわかりやすさと達成感があるから

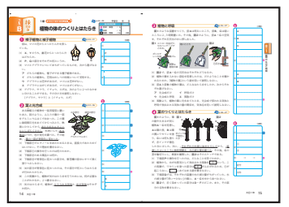


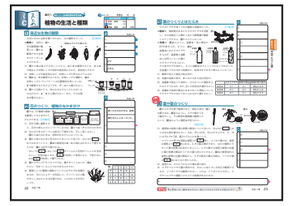
ワークブックは１年間の学習内容を１冊にまとめたものです。「この１冊を仕上げればいいんだ」というわかりやすさと，１冊やり遂げる達成感が，生徒の学習意欲の向上に役立ちます。

❷ ワーク1冊あれば，授業・家庭学習など，あらゆる場面で活用できるから

ワークブックの多くは，小単元に対応したページに加え，単元ごと，学期ごと，学年末などの区切りに対応した復習ページや，生徒共通の弱点に対応した特集ページが随所に設けられており，学習の場面に応じたさまざまな使い方が可能です。


小単元対応ページ

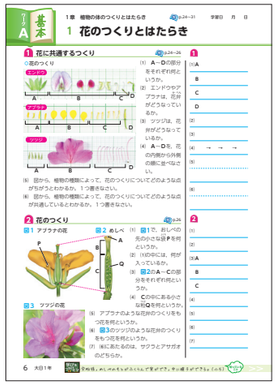

単元末　基本のチェック問題


単元末　テスト形式問題

理科 ワークブックをご活用ください！

check!
図書教材の複写複製利用については、著作権法第35条の「ただし書き」において、禁止されています。

❸ 豊富な写真や図版，イラストで楽しく効果的な学習ができるから





多くのワークブックはカラー印刷で,写真や図版,イラストが豊富に掲載されています。生徒の興味を引き付け,内容の理解をより深めるのに役立ちます。

もちろん,シンプルに問題に取り組ませたいというご要望にお応えする,1色または2色のワークブックも発刊されています。

さらに、こんな特徴も！

ワークブックには手作りのプリント教材では実現しにくいことが満載!
だから多くの先生に採用され続けているのです!

❹ 標準的な問題内容で，もれなく・かたよりなく，使いやすく!

ワークブックは，学校教材専門の出版社が編集・制作し，全国の学校専門の販売店を通して提供しています。学校の実情に詳しく先生方の身近にいる業者が，学習指導要領や教科書の研究を土台に，全国の学校の情報を集めて編集していますので，もれなく・かたよりなく，しかも学校でいちばん使いやすい教材を提供しています。

❺ 独自の調査・分析で適切さを確保

ワークブックを発行している出版社の多くが加盟している日本図書教材協会では,検定制度のない教材に対する「学校教材調査会」を設け,大学教授と現職の中学校教諭で構成される調査委員により,加盟出版社の教材の1ページ1ページ,1問1問の適否を分析してフィードバックし,次回の教材編集に活かす取り組みを行っています。

❻ 1年間に必要な修得教材を安価で

ワークブックは1年間の学習の軸となる教材を，
生徒一人あたり数百円で提供しています。



Q ワークブックの中身はどうなっているの？

一般的なワークブックの通常誌面は，下図のようになっています

このような誌面のページに加え,単元のまとめ問題,数単元のまとめ問題,弱点補強特集などがありますので,どんな先生の指導スタイルにもあわせて活用していただくことができます。

単元タイトル・ねらい	標準的なレベルの練習問題
（要点のまとめ）	
もっとも基礎的な知識や技能の問題	
	知識や技能を活用する問題

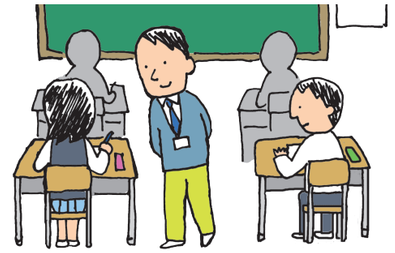
Q どんな場面でどんな使い方ができるの？

予習では…

①単元タイトルとねらいを読ませておく。
②単元の学習内容のまとめを読ませておく。
など

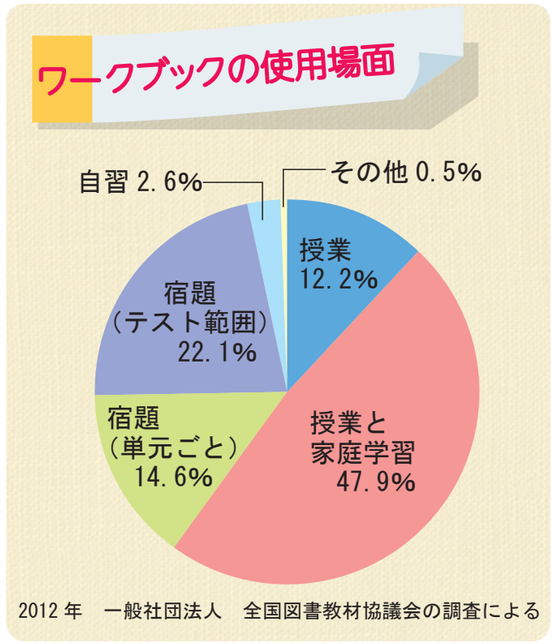
授業では…

全員が取り組める基本的な課題として
①もっとも基礎的な知識や技能の問題に取り組ませる。
指導が必要な生徒に対する指導をしやすくするための課題として
②標準的なレベルの練習問題や知識や技能を活用する問題に取り組ませる。
など



復習では…

①予習や授業で取り組んだ残りの部分を宿題として取り組ませる。
②単元末のまとめや定期テスト前の復習課題として取り組ませる。
など



2012 年　一般社団法人　全国図書教材協議会の調査による